

平成 23 年版林道必携 技術編 185 ページ (誤)	(正)
<p>第 7 章 排水施設</p> <p>第 1 節 通則</p> <p>[略]</p> <p>第 4 節 地下排水施設</p> <p>4-1 一般 [略]</p> <p>4-2 排水量 [略]</p> <p>4-3 排水工法</p> <div data-bbox="224 654 1064 766" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>地下排水工法は、排水の目的、排水量、その他現地条件により、その位置、構造、断面、寸法等を選定するものとする。</p> </div> <p>[解説]</p> <p>地下排水工法は、水位の低下、排水又は遮断等の排水目的及び現地調査による実態排水量又は計算によって求めた排水量を基に、現地の地形、地質等を勘案して、その位置、構造、断面、寸法等を選定する。</p> <p>1 断面計算</p> <p>[略]</p> <p>2 一般構造</p> <p>(1) [略]</p> <p>(2) [略]</p> <p>(3) [略]</p> <p>(4) 盛土基盤地盤 [以下略]</p>	<p>第 7 章 排水施設</p> <p>第 1 節 通則</p> <p>[略]</p> <p>第 4 節 地下排水施設</p> <p>4-1 一般 [略]</p> <p>4-2 排水量 [略]</p> <p>4-3 排水工法</p> <div data-bbox="1097 654 1937 766" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>地下排水工法は、排水の目的、排水量、その他現地条件により、その位置、構造、断面、寸法等を選定するものとする。</p> </div> <p>[解説]</p> <p>地下排水工法は、水位の低下、排水又は遮断等の排水目的及び現地調査による実態排水量又は計算によって求めた排水量を基に、現地の地形、地質等を勘案して、その位置、構造、断面、寸法等を選定する。</p> <p>1 断面計算</p> <p>[略]</p> <p>2 一般構造</p> <p>(4) [略]</p> <p>(5) [略]</p> <p>(6) [略]</p> <p>(4) 盛土基礎地盤 [以下略]</p>

平成 23 年版林道必携 技術編 301 ページ (誤)	(正)
<p>第 4 節 コンクリート舗装</p> <p>4-1 舗装の構造 [略]</p> <p>4-2 設計</p> <div data-bbox="224 507 1066 660" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>舗装の設計に当たっては、路床条件、気象条件、交通条件等コンクリート版の剛性等を考慮し、経済的及び耐久的な構造を選定するものとする。</p> </div> <p>[解説]</p> <p>路盤厚及びこれを構成する各層は、路床土の強度特性に基づき設計する。</p> <p>1 設計支持力係数</p> <p>(7) 路盤厚の設計は、設計支持力係数によることとし、路盤の支持力係数(K30)は 147 k N/cm² 以上とする。</p> <p>(8) [略]</p> <p>[以下略]</p>	<p>第 4 節 コンクリート舗装</p> <p>4-1 舗装の構造 [略]</p> <p>4-2 設計</p> <div data-bbox="1095 507 1937 660" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>舗装の設計に当たっては、路床条件、気象条件、交通条件等コンクリート版の剛性等を考慮し、経済的及び耐久的な構造を選定するものとする。</p> </div> <p>[解説]</p> <p>路盤厚及びこれを構成する各層は、路床土の強度特性に基づき設計する。</p> <p>1 設計支持力係数</p> <p>(1) 路盤厚の設計は、設計支持力係数によることとし、路盤の支持力係数(K30)は 147N/cm² 以上とする。</p> <p>(2) [略]</p> <p>[以下略]</p>